



園だより
9月号

令和5年8月31日
睦沢町上之郷1736
睦沢町立睦沢こども園
TEL0475-44-0050



2学期が始まります。残暑の厳しい日が続くことが予想されます。夏の疲れが出やすい時期ですので、お子さんはもちろん、保護者の方々もお体には十分、お気を付けてください。

9月1日は、防災の日です。地震や火事などの災害から身を守るために、防災訓練を行います。訓練の約束事として、「おさない」「かけない」「しゃべらない」「もどらない」「なかない」の「お・か・し・も・な」の約束を伝えていきますので、2歳児～5歳児の保護者の方は、ぜひ御家庭でも「お・か・し・も・な」の約束は何かな～?と、クイズ形式で質問してみてくださいませ。0・1歳児の保護者の方は保護者の方から、「お・か・し・も・な、おはおさないだね。」と話してあげてください。園では月に1回、地震や火事・不審者・竜巻の想定をして避難訓練に取り組んでいます。子どもたちに、訓練の約束や避難の仕方の大切さを伝えていきたいと思ひます。



9月のねらい

0歳児・遊びや生活の中で、保育者や友達と触れ合う楽しさや心地良さを味わう。

- ・安心できる環境で、伸び伸びと身体を動かして遊ぶ。

1歳児・生活の流れが少しずつ分かり、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。

- ・遊びを通して、保育者や友達と身体を動かして遊ぶことを楽しむ。

2歳児・保育者や友達と一緒に全身を使う遊びを楽しみ、身体を動かす心地良さを味わう。

- ・友達と言葉のやりとりを楽しむ。

3歳児・園生活のリズムを取り戻し、身の回りのことを自分でしようとする。

- ・友達や保育者と一緒に身体を動かす楽しさを味わう。
- ・身近な自然に興味をもち、季節の移り変わりを感じる。

4歳児・園生活でのリズムを整え、友達と身体を動かすことを楽しむ。

- ・自分の思いを言葉で伝えたり、友達の思いを聞いたりして関わりを楽しむ。
- ・夏から秋への季節の変化に気付く、身近な自然に興味や関心をもつ。

5歳児・自分なりの目当てをもち、繰り返し挑戦し、身体を動かして遊ぶことを楽しむ。

- ・自分の考えや思いを伝えながら、友達と一緒に遊びや活動を進める楽しさを味わう。
- ・季節の変化に関心をもち、遊びに取り入れて楽しむ。



靴の選び方

運動会への取り組みも始まります。運動遊びも活発になりますが、足に合った靴でないとい、足だけではなく、身体全体に負担がかかってしまいますので、靴を選ぶときは、下記の項目をチェックしてください。

- つま先に0.5～1センチの余裕がある
- 横幅が合っている
- 甲の高さが合っている
- かかとがしっかりと固定されている



外靴だけでなく、上履きも同様です。大きすぎると、上靴が脱げてしまい、室内での活動が十分に行えなくなってしまいます。また、小さすぎても、成長途中の足を痛める原因になりますので、上履きを持ち帰りましたら、お子さんの足に合っているか確認してください。また、面ファスナーなど、お子さんが自分で扱える靴をお願いします。

わくわく広場・子育て座談会

日 時:9月13日(水)
時 間:10:00～11:00わくわく広場
11:00～11:30子育て座談会
対 象:未就園児
集 合 場 所:子育て支援室
内 容:粘土遊びを楽しもう
8・9月生まれの誕生会



★睦沢こども園にお申込みください。
お待ちしております。

0475-44-0050

1歳児(あひる組)の姿

クラスにも慣れ、遊びや生活する中で子どもたちに笑顔が増えました。天気の良い日が続きますが、熱中症警戒アラートが発表されたため、なかなか戸外で遊ぶ機会がありませんでした。遊戯室や保育室で、保育者の真似をして体操をしました。手や足を動かし、回数を重ねていくうちに、少しずつ振り付けを覚えしました。遊戯室ではコンビカーで遊び、最初は乗っているだけでどう動いていかわからずじまいでしたが、コンビカーを足で動かしている友達や保育者の姿を見て、今では遊戯室の中をたくさん走り回っています。また、コンビカーを動かすだけでなく「ブーン」と言ったり、「ビーポービーポー」と救急車に見立てたりして楽しんでます。

身体を動かすにはいい時期ですが、気温や天候を見ながらの戸外遊びになると思います。その中で、子どもたちが遊びを通じて、身体を動かすことの楽しさや感じたり、お兄さんお姉さんの姿を見て、自分もやってみたくらいと思ったりできるようにしたいと思ひます。



コンビカーで遊んでいても、体操の曲がかかるとコンビカーから降りて、嬉しそうに保育者の真似をして、体操をしていました。

4歳児(ゆり・すみれ組)の姿

今年の夏も暑い日が続きましたが、元気に夏の遊びを楽しんでいました。どろんこ遊びでは、あまどいを使って水を流して池を作ったり、泥の感触を味わったりすることができました。5歳児が泡遊びをしているのを見て、泡遊びにも挑戦しました。固形石鹸をすりつぶし、手でシャボン玉を作ったり、かき混ぜて泡を作ったり、夏ならではの遊びを楽しむ姿が見られました。

室内では、5歳児の夏祭りごっこに憧れ、自分たちなりに焼きそばやわたあめ、金魚すくい等、たくさんの屋台を用意し、夏祭りの雰囲気を楽しみました。また、小さいクラスの友達もお客さんとして呼び、「これですくうんだよ。」と金魚すくいのやり方を教えたり、「焼きそばどれにする?」と、やり取りをしながら品物を買ったりする姿が見られました。

これから、運動会に向けて活動が増えますが、友達と一緒に力を合わせる楽しさや勝ち嬉しさ、負ける悔しさを経験できるようにしていきたいと思ひます。



店員さんになりきって、売ったり、お客さんと呼んだりしていました。自分たちで作った物が売れる嬉しさも感じたようで、1つ売れるごとに、友達と顔を合わせて喜んでいました。

♥子育てハッピーアドバイス♥

子どもを伸ばすには、この3つが大事です!

1、認める:安心感を与える

「認める」とは、子どもの言うことを何でも聞くということでも、よくできたと評価することでもありません。「存在を認める」ということです。たとえば、子どもが何かを欲しがったときに「そんなの、いらないでしょ!」と言え、子どもを否定したことになります。そうではなく、「それが欲しかったんだね」と子どもの言い分をいったん聞く。つまり、「子どものあるがままを一度受けとめる」ことが大事なのです。それだけで子どもは安心し、自己肯定感が高まり、育っていきます。

2、見守る:自主性を育てる

我が子に辛い思いをさせたくない、失敗させたくないという親心から、つい指示が増えたり、あれこれ手を出してしまうのもよくわかります。でもそれでは、子どもが自ら考え、行動する力が育ちません。

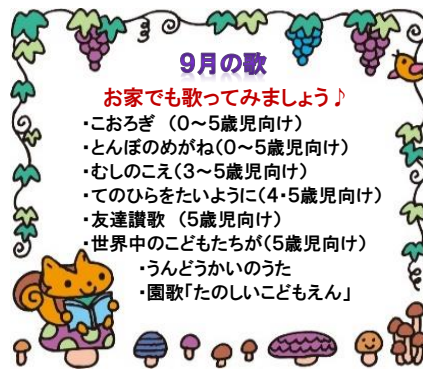
「見守る」とは、子どもの成長に合わせ、どこまで任せるとかを判断し、子どもとの距離感を選び直すことです。適切に見守るためには、「子どもの今日の姿」をよく見る必要があります。昨日できなかったことが、今日できている、それが子どもです。余計な手出しをせずに見守ることは、子どもへの信頼、子どもの自立へとつながります。

3、待つ:自信を与える

子どもができるまで「待つ」というのは、とても忍耐がいることでしょう。でも、親が待つことで、子どもは「自分でやりきった」という達成感を得られ、それが自信となり、次のやる気へとつながっていきます。

親は子どもに対し、「この子なら大丈夫」と根拠のない自信をもつことが大事です。そうすれば、子どもを信じて待つことができます。ただい、ただ待てばいいことではなく、今の能力で対処できない壁に子どもが突き当たったときは、助けることも必要です。しっかり見守りながら、必要な場面ではサポートしましょう。

参考文献:PHPのびのび子育て 教育専門家 小川大介 著



9月の歌

お家でも歌ってみましょう!

- ・こおろぎ (0～5歳児向け)
- ・とんぼのめがね (0～5歳児向け)
- ・むしのこえ (3～5歳児向け)
- ・てのひらをたいよう (4・5歳児向け)
- ・友達讃歌 (5歳児向け)
- ・世界中のこどもたちが (5歳児向け)
- ・うんどうかいのうた
- ・園歌「たのしいこどもえん」

園庭開放・おはなしの広場

日 時:9月6日(水) 9:50～11:00
おはなしの広場11:00～11:30
20日(水)、27日(水)9:50～11:30

対 象:未就園児
場 所:睦沢こども園園庭
子育て支援室

★気軽に遊びにきてください。

